

予防対策チェック表の活用について

本チェック表は、主催者、チーム代表者、選手等が大会期間中毎日それぞれの予防対策をチェックし、東北総体に参加するもの皆で安全・安心な大会にするためのものである。参加者全員の御協力よろしくお願いいたします。

1 各チーム内感染防止班長の設置

本チェック表に係る業務を効果的に実施するために、各チーム内に監督とは別に感染防止班長を設置しチェック表の確認及びチーム内の感染防止に係る業務（行動記録及び健康観察記録証明書及び大会参加者健康チェックシートの集約及び確認等）を行うこと。

2 事前のチェックについて

- (1) 主催者、チーム代表者、選手等は、大会実施前に、各項目をチェックし、すべての項目にチェックが付くようにする（実施前の段階では項目に示されている内容を実施予定であることを想定しチェックする）。
- (2) 主催者は、監督会議で主催者用のチェック項目を示し、チーム代表者に係る内容を指導することでチェックを入れる。
- (3) 主催者用で、「換気」やドアノブ等の消毒」など、定期的に行うものについては、その担当者や割り当て等を決めて実施できる体制になっている場合にチェックをいれる。
- (4) チーム代表者は会場に入る前に、選手等のチェックリストを確認した後、入場を許可すること（その旨、選手等に伝えること）。

3 事後のチェックについて

- (1) 主催者、チーム代表者、選手等は、大会終了日毎にチェック項目を確認し、不備がなかった場合チェックを入れる。
- (2) 事後チェック後、不備が確認された場合は、翌日の大会実施前に改善し、感染防止対策を徹底すること。

4 チェック表の保管について

- (1) 選手等用のチェックリストは、チーム代表者が回収し、2週間程度保管すること。大会関係者等に感染が確認されない場合には、選手等に確認し、返却するか確実に処分すること。
- (2) チーム代表者用のチェックリストについては、競技終了後、競技本部に提出すること。

東北総体・チーム代表者・監督用

大会参加のチーム代表者用チェックリスト (R3. 6. 3)

県 氏名

✓		チーム代表者等がチェックする項目	令和3年 月 日 ()
事前	事後		
		1 検温・健康観察について ○ 会場に入る直前に、チーム代表者または監督等が選手等の検温を行い、複数の目で点検し発熱者がいないこと、体調不良者がいないことをきちんと確認し、その結果を受付に報告してから入場させている。第二顧問が配置されていない場合は、大会役員に依頼して点検している。 ※発熱(37℃以上)や体調不良となっている選手等がいた場合は帰宅させ受診を促すこと。	
		2 保護者との連携について ○ 選手等の自宅での検温、体調確認等について、大会2週間前から確実に行われているか健康チェックシートによって確認している。また、家庭内で体調不良者がいる場合は報告するよう求めている。	
		3 マスクの着用について ○ 選手等に対し、試合のインプレー中以外は、ウイルスの遮断に効果があるとされている不織布マスクを常時着用するよう指導している。特に、試合中の作戦タイム中・試合終了直後の着用を徹底させている。	
		4 選手や試合場等の消毒について ○ 選手等に対し、試合前後の手洗いまたは手指の消毒を徹底するよう指導している。 ○ チームで使用している共用のボールや用具等、多くの選手等が手を触れる物について、選手等に定期的に消毒をするよう指導している。 ○ 選手等に対し、試合中や試合終了後等、試合場やベンチ等の消毒やモップ掛けを徹底するよう指導している。	
		5 試合中の行動や発声について ○ 選手等に対し、円陣を組んでの鼓舞や、得点時のハイタッチ・ハグ等をしないように指導している。 ○ 選手等に対し、試合の展開に不必要な大声での発声等をしないよう指導している。	
		6 応援について ○ 選手等に対し、応援は拍手のみとし、声援は行わないよう指導している。	
		7 飲料やタオル等について ○ 選手等に対し飲料ボトル・コップやタオルの共用等をしないよう指導している。	
		8 飲食について ○ 選手等に対し、飲食する場合は、手洗いまたは手指の消毒を行うとともに、マスクを外して会話をしないことや十分な間隔をとって同じ方向を向くことについて徹底するよう指導している。	
		9 更衣室等の利用について ○ 選手等に、更衣室、ロッカールーム等の共用エリアを使用させる場合、短時間の利用とし、一斉の利用は避け、時間差利用を行うこと、使用時には、着替えの際もマスクを着用し、身体的距離を確保すること、会話をしないことを指導している。	
		10 控室等の利用について ○ 選手等に、控室等で待機する際は、マスクを着用し、身体的距離を確保して会話をしないことを指導している。 ○ 選手等に対し、各チームで控室としてテント等を張って利用する場合には、他チームとの間隔を空け、換気やマスク着用を徹底し、利用人数を制限するよう指導している。	
		11 ゴミ処理について ○ チーム内で出たゴミをまとめて持ち帰るゴミ袋を準備している。 ※ゴミは持ち帰り、密封して各チームで処分する。	

東北総体・選手等用

- このチェックリストは東北総体に参加するときに選手の皆さんが取るべき行動について自ら確認してもらうためのものです。
- **特に、体調が悪い場合は無理や過信をせず、すぐにチーム代表者等に報告してください。**大会にかける皆さんの思いは十二分に理解しておりますが、**時には参加しないという勇気も必要**です。万が一自分が感染していた場合、自分だけでなく、自チームや他チーム、その家族にまで影響が及び、場合によっては命の危険にさらされてしまう可能性があること、また、他の種目を含む大会全体の開催にも影響が及ぶことを十分理解して行動してください。
- 一人ひとりが体調管理、感染防止対策を徹底し、大会に参加する全員で**安全・安心に配慮した行動**を取りましょう！

大会参加の選手用チェックリスト（共通事項 R3. 6. 3）

県 氏名

	✓		令和3年		月		日（ ）
事前	事後	選手がチェックする項目					
		1 検温・健康観察について ○ 会場に入る直前に、チーム代表者等から体温チェックを受けるとともに、自身の体調を報告し、許可を得て入場する。 ※発熱(37℃以上)または体調不良の場合はチーム代表者等へ連絡する。					
		2 家庭内での健康チェックについて ○ 自宅での検温、体調確認等について、大会2週間前から確実にやっている。また、家族同士でも健康チェックを行い、体調不良者がいる場合はチーム代表者等に報告する。					
		3 マスクの着用について ○ 試合のインプレー中以外は、ウイルスの遮断に効果があるとされている不織布マスクを常時着用する。特に、試合中の作戦タイム中・試合終了直後の着用を徹底する。					
		4 消毒について ○ 試合前後の手洗いまたは手指の消毒を徹底する。 ○ チームで使用している共用のボールや用具等、多くの選手が手を触れる物について、選手内で役割を決め、定期的に消毒をする。 ○ 試合中や試合終了後等、試合場やベンチ等の消毒やモップ掛けを徹底する。					
		5 試合中の行動や発声について ○ 円陣を組んでの鼓舞や、得点時のハイタッチ・ハグ等をしない。 ○ 試合の展開に不必要な大声での発声等をしない。					
		6 応援について ○ 応援は拍手のみとし、声援は行わない。					
		7 飲料やタオル等について ○ 飲料ボトル・コップやタオルについては個人の物を使用する。					
		8 飲食について ○ 飲食する場合は、手洗いまたは手指の消毒を行うとともに、マスクを外して会話をしないことや十分な間隔をとって同じ方向を向くことについて徹底する。					
		9 更衣室等の利用について ○ 更衣室、ロッカールーム等の共用エリアを使用する場合には、短時間の利用とし、一斉の利用は避け、時間差利用を行う。使用時には、着替えの際もマスクを着用し、身体的距離を確保し、会話をしない。					
		10 控室等の利用について ○ 控室等で待機する際は、マスクを着用し、身体的距離を確保して会話はしない。 ○ 各チームで控室としてテント等を張って利用する場合には、他チームとの間隔を空け、換気やマスク着用を徹底する。					

東北総体・主催者用

各競技主催者用チェックリスト (R3. 6. 3)

競技名

	✓		
事前	事後	各競技団体・専門部がチェックする項目	令和3年 月 日 ()
		1 大会の運営について ○ 試合時間の短縮や、男女で時間帯を分ける、試合場に入る人数を限定する、会場内の入場者数を制限するなどの会場が密にならないような対策を講じている。	
		2 入場者について ○ 入場時の受付で検温、体調確認、事前調査用紙等の提出等を実施している。 ○ 各チームでビデオ撮影等を行う場合は、入場できる人数を必要最小限とし、期間を決めた健康チェックを行ったうえで入場を許可している。 ○ 報道、関係者については、入場数を必要最小限とし、事前に主催者に申請を行ったうえで入場を許可している。	
		3 監督等に対する感染防止意識の喚起について ○ 監督または引率教諭が感染防止対策の徹底について常に意識をし、責任を持って、選手に感染防止対策(試合以外でのマスク着用・飲食時の対策徹底等)を徹底させるよう強く指導している。	
		4 検温・健康観察について ○ 会場に入る直前に、チーム代表者等(競技役員等)が選手等に検温を行い、発熱者がいないこと、かつ、体調不良者がいないことを確認してから入場できるような受付としている。 ※ <u>発熱者(37℃以上)</u> や体調不良者がいた場合はフロー則り対応すること。	
		5 消毒液の配備について ○ 参加者がこまめに手指消毒できるよう会場内に消毒液を配備している。(出入口、控室、更衣室、トイレ、試合場など)	
		6 マスクの着用について ○ 監督等に対し、試合のインプレー中以外はウイルスの遮断に効果があるとされている <u>不織布マスク</u> を選手等に常時着用させること、特に、試合中の作戦タイム中、試合終了後は着用を徹底させることについて指導している。	
		7 試合場やベンチ等の消毒・モップ掛け等について ○ 試合中や試合終了後等、試合場やベンチ等の消毒やモップ掛けについて実施体制を整備している(参加者・スタッフどちらが実施するか等)。選手等に消毒やモップ掛けを実施させる場合は、監督等に選手等への指導を要請している。	
		8 換気について ○ 室内会場では、常時窓や扉を開放し、換気することとしている。常時開放することができない場合には、30分に1回は窓を全開にして換気することとしている。	
		9 チェンジコート等の対応について ○ チェンジコート、ベンチの移動等は行わないようにしている。試合の公平性を保つためにやむを得ず必要な場合でも、ベンチの移動は行わないようにしている。	
		10 試合中の行動や発声について ○ 監督等に対し、選手等に円陣を組んでの鼓舞や、得点時のハイタッチ・ハグ等をさせないよう指導している。	

	<p>○ 監督等に対し、選手等に試合の展開に不必要な大声での発声等をさせないよう指導している。併せて審判員に対して、不必要な大声での発生等を行った場合は、当該選手及び監督等に対し、厳重注意を行うよう指導している。</p>
	<p>11 応援について</p> <p>○ 監督等に対し、選手等の応援は拍手のみとし、声援をさせないよう指導している。</p>
	<p>12 飲料やタオル等について</p> <p>○ 監督等に対し、参加者に飲料ボトル・コップ等の使い回しやタオルの共用等をさせないよう指導している。</p>
	<p>13 飲食について</p> <p>○ 監督等に対し、参加者が飲食する場合は特に注意し、マスクを外して会話をしないことや十分な間隔をとって同じ方向を向くことについて徹底させるよう指導している。</p>
	<p>14 更衣室等の利用について</p> <p>○ 更衣室については、複数個所を準備したり、時間差での割り当てを決めたりする等、参加者が密とならないようにしている。</p> <p>○ 監督等に対し、選手等に更衣室、ロッカールーム等の共用エリアを使用させる場合には、短時間の利用とし、一斉に利用は避け、時間差利用を行うこと、使用時には、着替えの際もマスクを着用し、身体的距離の確保、会話をしないことについて徹底させるよう指導している。</p> <p>○ 使用上の注意事項を更衣室内に掲示している。</p>
	<p>15 控室等の確保及び利用について</p> <p>○ 各チームの参加人数を事前に把握し、選手が密とならないように控室等を準備している。</p> <p>○ 複数チームが同室にならないよう控室等を確保する。 ※ 控室の面積によっては複数チームの同室も可とするが、パーテーション等を設置すること。</p> <p>○ 監督等に対し、選手等に、控室等で待機する際は、マスクを着用し、身体的距離を確保して会話をしないことを徹底させるよう指導している。</p> <p>○ 控室内を常時換気することとし、使用上の注意事項を室内に掲示している。</p> <p>○ 監督等に対し、各チームで控室としてテント等を張って利用する場合には、他チームとの間隔を空け、換気やマスク着用を徹底し、利用人数を制限するよう指導している。</p>
	<p>16 会場における感染防止責任者の配置について</p> <p>○ 会場における感染防止責任者を配置し、定期的に巡回して、入場者全員の感染防止対策を徹底させている。</p> <p>○ 責任者は感染防止について、入場者への指導や、定期的な消毒（共用のボールやドアノブ等）、会場の換気等、責任を持って徹底している。</p>
	<p>17 会場内での動線について</p> <p>○ 会場が密とならないように、会場内で参加チームの動線を固定し、監督が選手を誘導するなど速やかな移動が行われるよう指導している。</p> <p>○ 会場や競技の特性によって動線を固定することが難しい場合には、監督が密とならないような移動方法を工夫して速やかに会場を出るよう指導している。</p>
	<p>18 ゴミ処理について</p> <p>○ 監督等に対し、チーム内で出たゴミはチームが準備したゴミ袋にまとめ、密封して各チームで処分するよう指導している。</p>